

しば子先生の

ミ

ニ

ミ

ニ

芝生教室

第10回 3わり



先生：しば代ちゃん、前回の宿題、「刈高と刈込頻度の関係」の答えはわかったかしら？

生徒：はい、いろいろ考えました。伸びる速度が同じだとすればより低い刈高の芝の方がより頻繁に刈込まないといけなような気がしました・・・

先生：そうね、低い刈高の芝生のほうが頻繁に刈込まないといけなのは感覚的に分かるわよね・・・じゃあ具体的に何 mm の刈高ならどれだけ頻繁に刈込みをしないといけなかわかってるかしら？

生徒：えっ・・・具体的にですか・・・？・・・ベントグリーンだったら毎日刈込まないといけないですよね・・・日本芝のフェアウェーなら夏場で2, 3日に1回といったところでしょうか・・・

先生：確かに具体的にはそうだね・・・じゃあその根拠は？

生徒：根拠ですか・・・！

先生：そうよ、根拠・・・理由よ・・・それを説明して・・・

生徒：説明するまでもなく単に当たり前のことのような気がするんですが・・・

先生：その説明ではちゃんとわかっているとは言えないわね・・・

生徒：うーん・・・

先生：じゃあ刈込の『3割のルール』って知ってる？

生徒：3割のルール・・・聞いた事あるような無いような・・・

先生：これは芝生管理のチョー常識よ・・・

生徒：チョー常識・・・知りませんでした・・・

先生：つまり芝生を刈込む時にいっぺんに3割以上刈込んではいけないというルールよ・・・

生徒：なんだかどこかで聞いた事があるような気がします・・・

先生：これは当たり前のようだけどとても大事な事よ・・・このルールを当てはめれば刈高と刈込頻度の関係がきっちりとわかるわよ・・・

生徒：3割ですよ・・・たとえば15mmに伸びた芝生は10mm以下では刈ってはいけないということですよ・・・

先生：その通りよ・・・でも一般には刈込機の刈高はある程度設定して毎回刈るから、刈込機の設定している刈高から逆に何mmまで伸ばせるか考えた方がいいわよね・・・

生徒：なるほど・・・ではティーグラウンドを10mmで設定したら約14mmまで伸ばせるというこ

とになりますね・・・

先生：その通り・・・もし芝生が毎日1mm伸びるとしたら4日以上芝刈りの間隔を空けてはいけないということになるわね・・・

生徒：なるほど！それが刈込頻度の説明になるんですね！

先生：そういうこと・・・でも勘違いしないでよ・・・3割というのは「最低でも」ということであって、本当は3割以下、つまり2割や1割・・・それ以下の方がより良いということ・・・芝生にとって刈込は大変なストレスなのよ・・・

生徒：確かにそうですね・・・普段刈込みは当たり前の作業だから考えなかったですけど、光合成をする場所を切り取って減らしてしまうんですものね・・・

先生：その通り・・・だからいっぺんに3割以上刈り取ってしまうと急激に光合成する力が落ちて芝生の体を維持できなくなってしまうのよ・・・

生徒：そうか！可能な限り刈込み頻度を上げて刈り取る葉の量を少なくした方がストレスがよりかからなくなるとのことですね・・・

先生：その通りよ・・・10mmの刈高で毎日1mm伸びるとして4日空けるのは限界であって、本来は3日より2日おき、2日おきより毎日と、より頻繁に刈るのが健全で丈夫な芝生を維持する必須条件ね・・・

生徒：それでハイエンドの管理はより刈込頻度が高くなければいけないんですね・・・

先生：特にグリーンの管理で低刈りをした場合、あっという間に3割の長さには達してしまう・・・3mmの刈高の時は4.2mmで3割の限界にきてしまうけど、そのレベルの刈高では3割はあまりにも多すぎるのよ。だから毎日刈るのは必須条件・・・アメリカのトーナメントで2mm台で刈るときなどは朝と昼間に2回刈込むこともあるわ・・・単にパッティングのスピードを維持するだけでなく芝生を維持するためにより頻繁な刈込頻度は必須条件・・・それに機械の刃をしっかりと砥いできれいに刈れることも重要・・・引きちぎるような刈込は細胞を破壊して再生するスピードを著しく下げてしまう・・・

生徒：刈込は大切なんですね・・・

先生：そうよ、芝生の管理の基本中の基本はまさに『刈込』・・・それに肥料養分が十分でなければ3割の刈込レベルでもすでに養分不足で葉緑素量が落ちているので簡単に枯れてしまうことも考えられるわ・・・刈込が面倒だから肥料を減らすなんてしたらどうなるか、常識でわかるわよね！

